

以下に保った炉内で炭 の有機物を、300度 み、廃タイヤ、紙類など

> 抑えることができる。 めランニングコストも 電力のみで稼働するた

般社団法人日本有

開発した。

能。化石燃料は使わず、

プラスチックや生ご

ロハスが実証実験を始めたり (丹波市市島町梶原)

製 理装置 実証実験始める 丹波市のロハス 玉

小泉賢司理事長=

を禁止したことからプ チックごみの受け入れ 国は海外からのプラス

の製品。 設に持ち込まなくて っており、ごみ処理施 限公司(呉書文社長) る装置として

2年前に こみの処理が問題とな 本社を置く緑華環境有 生する場所で処理でき に上る中国では大量の リーテックは中国に 工場などごみが発 人口が14億人 う。 剤などとして活用も可 炭化した灰は土壌改良 300分の1に減り、 比べ100分の1から 制できるのが特徴とい 物質の発生を大幅に抑 気汚染につながる有害 ンや窒素酸化物など大 はないためダイオキシ ごみの量は投入前と 置普及振興機構(JA ROA)=東京都品川

排出量を大幅に削減できる中国製の装置。日本の環境基準に合わせ ックなどのごみを低温で炭化処理し、ダイオキシンなど有害物質の 装置 「RETEC (リーテック)」 の実証実験を始めた。プラスチ 岡田圭司 本の環境基準に適合さ 実験を行う。装置を日 白屋)と連携して実証 高等専門学校(舞鶴市 という。 る可能性が期待できる のような装置が普及す 今後はリーテック

て改良を加え、国内での販売につなげる。

|内販売に向け

社長)の子会社で廃棄物のリサイクル事業を手掛けるロハス㈱(同

産業廃棄物処理業、㈱スリーエス(本社・福知山市牧、丸岡陽太

・丹波市市島町梶原、同社長)は11月17日、有機物低温熱分解処理

するロハスが舞鶴工業 し、 JAROA に加盟 が国内1号機を輸入

処理が課題になってお

ラごみを輸出していた

日本にとって国内での

厳しい基準に適合させ

は「(装置を)日本の

及にもつながる。地球 ることで、中国での普

環境を良くするという

1年以内の販売を

目指す。

呉社長によると、

上陸記念で式典 17日には関係者らが

典を開催。 日本上陸を記念した式 参加してリーテックの 小泉理事長 いさつした。 じて頑張りたい」とあ 使命感を持ち、今後さ きっと道は開けると信 岡社長は「日本での普 い」と述べたほか、丸 及は簡単ではないが、 らに研鑽していきた